森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1067
27年新年号

近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋1-8-75　TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

2015　恭賀新年

年頭のご挨拶　近畿中国森林管理局長　青木　庸三

明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって素晴らしい年となることを心からお祈り申しあげます。

昨年は、広島県を始め、全国でこれまで類を見ない異常な豪雨による山腹崩壊や土石流等、甚大な山地災害が発生し、また長野と岐阜県境にまたがる御嶽山が噴火するなど、自然災害により多くの人命・財産が失われました。

近畿中国森林管理局といたしましては、関係機関及び関係団体等との連携により、被災者の立場に立った対応に万全を期すとともに、治山事業と森林整備事業を推進して、安全な国土づくり・緑の国土強靱化になお一層取組んでいきたいと考えています。

さて、国有林野事業は、一般会計となり三年目を迎え、少しずつではありますが、公益重視の管理経営をなお一層推進し、森林・林業の再生と地域振興などの政策を実現すべく、歩を進めているところです。

近畿中国森林管理局においても、「国民のための国有林」として、地域の課題を積極的に拾い上げ、民有林と協調して課題の解決に努めているところです。

特に民有林と連携した路網整備の推進によるコスト削減、鳥獣被害対策を推進するための生息状況の把握や捕獲の実証、小規模経営の山林所有者に対する支援策の検討などに取り組んできたところであります。

本年におきましても、コンプライアンスの徹底強化を旨に、予定した事業を確実に実行し、国有林の組織・技術力・資源を活かして、コスト削減や路網整備、民有林との連携、人材育成への支援、治山対策や森林保全対策の推進など、各般の取組みを積極的に進め、森林・林業の再生を推進して参りたいと考えております。

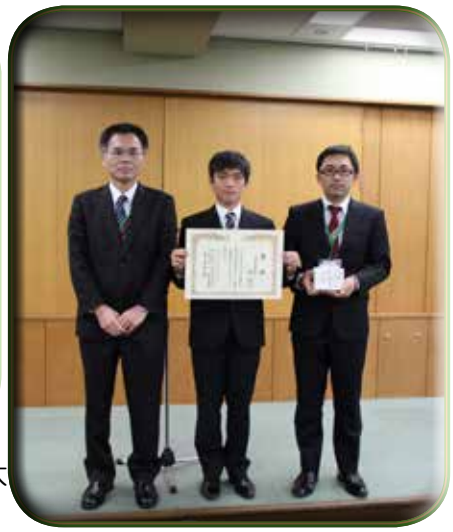
また、近畿中国森林管理局の各種取組を積極的に発信し、「国有林があってよかった。」と地域の皆さんに言って頂けるような国有林を目指して職員一同まい進する所存です。

これからも国有林野事業に求められる役割の発揮に精一杯努めていく考えですので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い致します。

最後に、皆様方の今年1年間のご多幸とご健康を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

平成２６年度　森林・林業交流研究発表会を開催しました。

【森林整備部 技術普及課】



11月27日（木）～28日（金）、近畿中国森林管理局大会議室において、「平成２６年度森林・林業交流研究発表会」を開催しました。

２日間で、延べ２００名が参加し、（独）森林総合研究所森林農地整備センター、兵庫県立山崎高等学校、京都府立北桑田高等学校、京都府立林業大学校、各森林管理署等から、１７課題の発表が行われました。

発表課題の中から厳正なる審査の下、単木伐採法による複層林上木を全面的に伐採し、伐採・搬出時における下木の損傷状況等について発表した兵庫森林管理署、森林共同施業団地において、民国連携した取り組みについて発表した広島北部森林管理署、子ども達の自主性を引き出す森林環境教育の取組について発表した箕面森林ふれあい推進センターの３課題が局長賞を受賞し、全体では審査員長特別賞を含め９課題が各賞を受賞しました。

なお、特別発表として、兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター、石川県農林総合研究センター林業試験場、（独）森林総合研究所関西支所、（独）森林総合研究所林木育種センター関西育種場から、最新の研究成果について発表が行われ、研鑽・交流の場となりました。

近畿中国森林管理局長賞

単木伐採法による複層林上木の全面伐採－短期二段林施業の可能性を探る－
（兵庫森林管理署）

森林共同施業団地での試み－民国連携の更なる発展を目指して－
（広島北部森林管理署）

「オオクワガタの棲める森づくり」における森林環境教育の取組について－実践から分かったこと－（箕面森林ふれあい推進センター）

（独）森林総合研究所　関西支所長賞

カワウと人の共生の森プロジェクト　１０年の節目を迎えて～カワウ対策１０年の歩みと今後の森林管理について～（滋賀森林管理署）

（独）森林総合研究所　林木育種センター関西育種場長賞

気比の松原の整備において発生する木材等の有効利用について
（福井森林管理署）

（一社）日本森林技術協会　理事長賞

森林バイオマスの販売による収入確保の可能性の検討
（山口森林管理事務所）

（一財）日本森林林業振興会　会長賞

つながる～木のぬくもりを伝える地域交流～（兵庫県立山崎高等学校）

森林・林業交流研究発表　審査委員長賞

大山森林生態系保護地域の植生調査中間報告（豊かなブナ林を育てるために）－大山森林生態系保護地域保全管理協力員の取組－
（大山森林生態系保護地域保全管理協力員・鳥取森林管理署）

これからの森づくりに向けて～林業大学校での取組～
（京都府立林業大学校）

また、12月4日（木）に林野庁で開催された国有林野事業業務研究発表会においては、各局から3部門24課題の発表が行われました。

近畿中国森林管理局からは3課題を推薦し、うち鳥取森林管理署及び広島北部森林管理署が発表した2課題が林野庁長官賞（◎記）を受賞しました。

＜森林技術部門＞

トータルコスト縮減に向けた伐採・造林の一体的取組

（兵庫森林管理署）

◎低コスト林業への取組について

―伐採・搬出・植栽を一体化した事業発注を実施して―

（広島北部森林管理署）

＜森林ふれあい部門＞

◎民国連携による地域一体となった鳥獣害対策活動について

―若桜町におけるニホンジカ対策の取組―

（若桜町産業観光課・鳥取森林管理署）

ニュース

森林体験発表会 ～箕面市立豊川北小学校～

【箕面森林ふれあい推進センター】 12月1日（月）、箕面市立豊川北小学校で授業の一環として4年生2クラス合同の森林体験発表会が行われました。これは、10月23日、「オオクワガタの棲める森づくり森林体験イベント」で行った「森の探検隊」を通じて体験したことを発表したものです。

14の班（1班4～5名）から、選択した探検ポイント毎に自分たちで撮影した写真を使って、考えたことや知ることのできたことを皆で工夫しながら元気いっぱい発表していました。ある班では、「家を建てる木」を探検し「家を建てる木は、12mぐらいで、ヒノキという名前です。家を建てるときに、とってもやくだっています。」と発表していました。また、「小さなリュウキュウマメガキはこんなカを！！」と標題にして「まだ小さい木で実はなっていないけど、大きな木になるとしぶガキになります。昔、しぶガキは昔のかさ「カラカサ」の耐水性を高めるためにしるをぬっています。」と学習したことを発表していました。

イベント時に付けた探検隊名を名乗り、探検ポイントで発見し、理解し、考えたことを中心に発表が行われました。また、今回感じたことをふりかえり「シカが草を食べつくさないように工夫があってすごい勉強になりました。」「自然を大切にしようと思いました。」「いろいろな問題を推理して、たくさんのことを学べました。楽しかったです。」などの発表があり、みんな楽しく森林について学んでもらえたことが伝わってきました。先生からは、是非来年もやって欲しいとの声もあり好評でした。

最終回「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための検討会を開催

【和歌山森林管理署】 １２月３日（水）、「民有林と国有林の一体的な管理経営」のための検討会を森林管理署で開催しました。

当日は、年末の多忙の中、県西牟婁振興局の職員（フォレスターを含む）、白浜町・すさみ町の林務担当課、地元森林組合、国有林と隣接する民有林の所有者、当署の職員合わせて２０人が出席しました。

冒頭、牧野署長から「国有林を中心に宮城川地域の林業が更に発展するために路網整備のための検討を平成27年度も進めていくことにしていますので、今年度に引き続き関係者と一体となり皆さんのご意見等聞きながら取り組んでいきたい」と挨拶がありました。

その後、担当職員から「民有林と国有林の一体的な管理経営のための検討会の振り返り」について、パワーポイントで取組の成果、今後の課題、平成２７年度以降の取組方向を中心に説明し、意見交換の後、来年度以降も引き続き関係者と連携を図り、取り組むことを確認しました。

平成２７年度以降の取組方向は次のとおりです。

① 国有林内の林業専用道計画の再検討
② 獣害対策の試験の取組
③ 引き続き関係者との情報共有、意見交換の場の設定

林業専用道

松葉かきイベント「第２回松葉をかいてマツ林を元気に！」

【福井森林管理署】 １１月１６日（日）、福井県敦賀市の日本三大松原の一つに数えられる国の名勝「気比の松原」において、その保全に取り組む市民団体「気比の松原１００年構想推進連絡協議会」が主催する松葉かきが行われ、約１５０人が参加しました。

「気比の松原」は面積が約３２ha あり、海岸林には珍しくアカマツを主体とした海岸で、市民の憩いの場や観光地として親しまれています。しかし、近年は広葉樹の侵入や、樹木が混み合ってきたことなどにより、マツが弱っているほか、松くい虫による枯死が増えています。このため有識者や市民団体と共に保全対策である「気比の松原１００年構想」を基本方針として策定しました。松葉かきは基本方針に基づき、昨年度から実施しています。

イベント開始に先立ち、樹木医の籔内昭男氏から松葉かきが必要な理由の趣旨説明があり、参加者は熊手を使い１時間松葉をかき集め、集まった松葉はゴミ袋１５０袋となり、肥料として再利用されます。

また、同時にメリケンカルカヤの除去も行いました。メリケンカルカヤとは、イネ科の多年草で環境省が指定している要注意外来生物であり、松原の林内にたくさん繁茂して困っているところです。

同協議会は今後も松葉かきを企画するなど、将来にわたって松原の保全に取り組むこととしています。

お知らせ

近畿中国森林管理局
「森林のギャラリー」締切迫る！！

林野庁近畿中国森林管理局では、多くの国民が親しむ「開かれた国有林」を目指すため、局庁舎。局１庁舎階の展示ギャラリー【森林のギャラリー】への展示参加を広く募集しております。展示を希望される団体は、下記募集要項を参考にご応募下さい。

＊ 展示の参加
　団体のみとし、個人での参加はできません。
（国の機関、地方公共団体、森林ボランティア団体など。）企業については、認められる場合もありますので詳細でご確認ください。

＊ 展示の目的
国有林の PR や森林の保全・整備及び利用の促進などに資するもの等とし、営利を目的とするものは対象としない。（ただし、必要と認められ、かつ、少量・少額の販売については、認められる場合もあります。）

＊ 展示期間
ギャラリー：原則として２週間～１ヶ月
展示　box：原則として１ヶ月（新たな展示がない場合には、３ヶ月までは更新できます。）

＊ 展示 box の利用
１団体あたり、４ボックスまでとします。
（他の団体による展示がない場合は、未利用のボックスを限度として利用することができます。）

＊ その他
・展示料は無料です。

＊ 申込み期限　平成 27 年 1 月 31 日

＊ 詳細・応募先・問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課　企画係
TEL：050-3160-6751
FAX：06-6881-3564
E-mail：kc_shidou@rinya.maff.go.jp
HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html

森林のギャラリー（局庁舎１階）

【１月の展示スケジュール】
テーマ：レクリエーションの森
1/6 ～ 1/30　レクリエーションの森のスキー場紹介
【近畿中国森林管理局 保全課】
1/19 ～ 1/30　「美しい森の国」
～その恵みと保全や健康住宅を考える～
【NPO《いい家塾》】

コンプライアンスの推進について

近畿中国森林管理局では、昨年７月の外部有識者委員による奈良森林管理事務所事案に係る調査委員会報告書を踏まえ策定した「近畿中国森林管理局コンプライアンス推進行動計画」に基づき、その外部有識者の方々にも参画していただいて「コンプライアンス推進本部」を設置しています。８月以降毎月会議を開催しており、同行動計画を着実に実行するとともに、内容等の継続的な見直しと改善を行ってきました。（概要等はホームページで公表。）

また、８月から９月にかけて、局長を先頭にコンプライアンス推進キャラバンを全森林管理署等で実施し、全職員一丸となって不祥事の再発防止に取り組むことを誓いました。

今年も引き続き、奈良森林管理事務所事案によって失った信頼の回復と不正のない活力ある職場づくりに向けて、一層の努力をして参ります。

「国有林モニター」の募集締め切る

平成２７年度の「国有林モニター」の募集が終了いたしました。沢山のご応募、ありがとうございました。

結果につきましては、平成２７年３月中にお知らせいたします。

花草木

今月の花草木は「サザンカ（山茶花）」です。

サザンカは、ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹で、童謡「たきび」の歌詞に登場し、生垣として利用されています。

日本では山口県、四国南部から九州中南部、南西諸島（屋久島から西表島）等に分布しています。

ツバキ科の植物は、熱帯から亜熱帯に自生しており、ツバキ、サザンカ、チャは温帯に適応した珍しいもので、日本は自生地としては北限となっています。

サザンカは、兵庫県神戸市、宝塚市、三木市・奈良県大和高田市・鳥取県鳥取市などの「都道府県・市区町村等の木／花」となっています。

兵庫県篠山市の「西方寺」には、天然記念物に指定されている樹齢 600 年のサザンカの大木があり、「サザンカの寺」として知られています。

シリーズ　保護林　第19回

近畿中国森林管理局の保護林

恵下谷山（えげだにやま）コウヤマキ植物群落保護林　［太田川森林計画区］

コウヤマキ人工林

コウヤマキ（稚樹）

恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林は、広島県広島市に位置する恵下谷山国有林にあります。希少で学術的価値を有する個体の維持保護を目的とし、コウヤマキを保護の対象としています。

この保護林の面積は1.49haで、水源かん養保安林にも指定されています。

保護林南側にある東郷山（977.4ｍ）には登山道が整備されており、休日には登山者が訪れています。

【恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林に生育する植物】

◎植物：コウヤマキ、ヒノキ、スギ、ウラジロモミ、ユズリハ、ヤブツバキ、ヒサカキ、シロダモ、ハイノキ、ヤブニッケイ、ミヤマシキミ、ヤブコウジ、キジノオシダなど

◎動物：ニホンザル、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ、ブチサンショウウオなど

【保護林及び国有林内での注意事項】

★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。

★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。

★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。

★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。

【恵下谷山コウヤマキ植物群落保護林へのアクセス】

◎湯来町から・・・市道恵下谷線・恵下谷林道、分岐する白砂谷林道を上がり、終点から登山道を経てアプローチ。